

第 171 回 福岡産科婦人科学会

プ ロ グ ラ ム

(現地開催＋後日オンデマンド配信)

会 場 九州大学病院 コラボステーション1 2F 視聴覚室

〒812-8582 福岡市東区3丁目1番1号

TEL 092 - 642 - 6927

日 時 令和7年9月28日(日)

9:30 ~ 理 事 会 (アイン薬局九大南店2階会議室)

10:30 ~ 専門医制度委員会ならびに学会雑誌編集委員会
(アイン薬局九大南店2階会議室)

11:00 ~ 評 議 員 会 (アイン薬局九大南店2階会議室)

12:50 ~ 総 会 (2F 視聴覚室)

13:00 ~ 専 門 医 共 通 講 習 (2F 視聴覚室)

14:00 ~ 学 術 講 演 会 (2F 視聴覚室)

17:30 終 了

現地＋後日オンデマンド配信形式での学会開催とします。(ライブ配信はありません)詳細につきましては福岡産科婦人科学会のホームページにおきまして、随時情報を更新いたします。

1. 第171回福岡産科婦人科学会のホームページより、事前登録をお願いします。
2. 講演時間は9分(発表6分、質疑3分)。
3. 発表は事務局で用意したWindows PCで行います。USBメモリーに発表データを入れてお持ちください。予備として発表データが入ったPC本体もお持ちください。
4. 会場に用意するPCのアプリケーションはWindows Microsoft PowerPoint2019です。
*Macintoshをご使用の方は、必ずパソコンと専用コネクタをお持ち下さい。
*プロジェクターとの接続ケーブルコネクタは、HDMI又はミニD-Sub 15ピンです。
*発表者ツールのご利用はできません。発表資料は事前にプリントアウトの上お持ちください。
5. 評議員の先生には事前にお申し込みをされた方にお弁当(実費1,000円)をご用意します。
6. 評議員の先生のお食事会場は、九州大学医学部コラボステーション1F 共同セミナー室になります。
7. 今回の専門医共通講習は、現地開催とオンデマンド配信を予定しています。オンデマンド配信を視聴では、講習終了後の設問(5択)に正解した場合に、専門医共通講習の研究倫理(必須)1単位が付与されます。
8. 学会に関するお問い合わせは担当校(産業医科大学 担当:西村)までご連絡下さい。

担 当 産業医科大学 産科婦人科学教室

主 催 福岡ブ ロ ッ ク

専門医機構認定共通講習（専門医共通講習）

13：00～14：00

座長：吉野 潔（産業医科大学）

「研究者への研究倫理教育アップデート」

上田 陽一（産業医科大学・学長）

※本講習の受講により、「専門医共通講習：研究倫理（必修）1単位」が付与されます。

一 般 演 題

第1群) 14：00～15：00

座長：平 川 豊 文（福岡大学）

1. 妊娠後期の経膈超音波検査で診断された Type 3 の前置血管の 1 例

福岡大学

○荒 卷 彩 希・平 川 豊 文
讃 井 絢 子・石 濱 加 彌 子
石 田 智 大・中 尾 優 衣
平 野 智 佳・木 村 い ぶ き
荒 木 陵 多・井 槌 大 介
伊 東 智 宏・漆 山 大 知
四 元 房 典

2. 妊娠高血圧腎症に対して帝王切開術後に aHUS を発症した 1 例

JCHO 九州病院

○吉 村 早 加・田 中 大 貴
近 藤 恵 美・得 居 広 葉
永 井 亜 佑 実・池 之 上 李 都 子
安 東 明 子・魚 住 友 信
愛 甲 悠 希 代・西 村 和 泉
河 野 善 明

3. 先天性アンチトロンビン欠乏症およびヘパリンアレルギーを発症した二絨毛膜二羊膜双胎妊娠の一例

久留米大学

○原 健博・岡村 優
玉木 ちはる・藤岡 ゆい
川崎 由紀菜・柏田 浩伸
哲翁 晶・宗 邦夫
清水 隆宏・武藤 愛
横峯 正人・堀之内 崇士
津田 尚武

4. 2症例から学ぶ重複子宮妊娠の帝王切開分娩における戦略

九州医療センター

○杉本 愛沙・中尾 智美
江崎 高明・中溝 めぐみ
森下 優史・森田 葵
大藪 友里恵・嶋之浦 佳奈
黒川 裕介・早瀬 千尋
瓦林 靖広・藤原 ありさ
小川 伸二

5. 正常血圧下に発症した分娩時脳出血の一例 —関節リウマチ合併妊娠における稀な経過—

聖マリア病院

○井手 芳・浦郷 康平
佐久間 沙季・青木 瑠美子
立野 崇正・井上 寧々
石黒 元・原井 絢音
杉 悠・井上 麻実
朴 鐘明・堀 大蔵
杉山 徹・寺田 貴武

下 村 卓 也

6. 当院における若年妊婦の現状と周産期リスク

飯塚病院

○媚 山 友 仁・倉 員 正 光
飯 藤 依里子・徳 永 奈 穂
関 亦 真 生・安 部 直 希
吉 良 さちの・林 宗太郎
李 理 華・西 山 哲
辻 岡 寛

第 2 群) 15 : 00 ~ 15 : 50

座長 : 宮 田 康 平 (福岡大学)

1. プラチナ製剤が著効した若年発症の卵巣粘液性癌の一例

九州大学病院

○池 田 典 子・片 山 由 大
井ノ又 裕 介・川 上 穰
蜂須賀 一 寿・前之原 章 司
八 木 裕 史・安 永 昌 史
小野山 一 郎・浅野間 和 夫
矢 幡 秀 昭・加 藤 聖 子

2. 術後 23 年経過して腹腔内再発を来した低異型度子宮内膜間質肉腫の一例

北九州市立医療センター

○廣 瀬 陽 俊・堤 桜 子
兼 城 英 輔・石 田 崇 人
鐘 江 愛・中 野 幸 太
大 塚 裕一郎・井 上 修 作

原 枝 美 子・北 出 尚 子
西 村 淳 一・尼 田 覚
同 総合周産期母子医療センター 高 島 健

3. RRSO 後に胃癌・胆管癌を発症した HBOC の一例

小倉医療センター

○森 岡 将 来・河 村 京 子
仲 碧 子・竹 内 敬 祐
吉 川 秀 昭・竹 内 一 輝
光 山 丈 彦・牛 島 崇
堀 洋 暢・中 並 弥 生
藤 川 梨 恵・石 橋 弘 樹
北 川 麻里江・徳 田 諭 道
元 島 成 信・牟 田 満
川 越 秀 洋・川 上 浩 介
吉 里 俊 幸

4. 当院における進行・再発子宮体癌に対するデュルバルマブ併用療法の導入時使用経験

福岡大学

○紙 谷 雛 子・原 田 麗 嗣
粟 國 結 愛・石 田 倅 子
諸 井 明 仁・清 島 千 尋
吉 川 賢 一・宮 田 康 平
四 元 房 典

5. 原発の診断に苦慮した、Synchronous Mucinous Metaplasia and Neoplasia of the Female Genital Tract (SMMN-FGT)を背景に発生したと考える子宮体部胃型腺癌の1例

久留米大学病院

○久 田 ちひろ・吉 満 輝 行

富田 稜・川西 由莉
池澤 佳子・吉村 清隆
平野 佑季・落合 彩子
白本 紗矢香・池田 周平
重川 公弥・山川 理子
清家 崇史・田崎 慎吾
葉 高杉・田崎 和人
勝田 隆博・西尾 真
津田 尚武

第3群) 15:50~16:40

座長: 清島 千尋 (福岡大学)

1. 粘液除去を繰り返している腹膜偽粘液腫の一例

九州医療センター

○中尾 智美・杉本 愛沙
江崎 高明・中溝 めぐみ
森下 優史・森田 葵
大薮 友里恵・槁之浦 佳奈
黒川 裕介・早瀬 千尋
瓦林 靖広・藤原 ありさ
小川 伸二

2. ニラパリブ投与中に人参養栄湯を中止したところ貧血をきたした一例

聖マリア病院

○宮城 湧平・原井 綺音
佐久間 沙季・青木 瑠美子
立野 崇正・井上 寧々

石 黒 元・杉 悠
井 上 麻 実・浦 郷 康 平
朴 鐘 明・堀 大 蔵
杉 山 徹・下 村 卓 也
寺 田 貴 武

3. 当院のメフィーゴ®パック導入後の初期成績

産業医科大学

○藤 政 瑠美子・田 尻 亮 祐
福 元 裕 貴・松 野 真莉子
飯 尾 一 陽・内 村 貴 之
網 本 頌 子・愛 甲 悠希代
吉 野 潔

4. 「パパ」と呼ばれる妊婦 –LGBTQ 当事者の出産を支えた切れ目のない支援体制–

小倉医療センター

○竹 内 敬 祐・北 川 麻里江
仲 碧 子・吉 川 秀 昭
竹 内 一 輝・光 山 丈 彦
牛 島 崇・堀 洋 暢
中 並 弥 生・藤 川 梨 恵
森 岡 将 来・石 橋 弘 樹
河 村 京 子・徳 田 諭 道
元 島 成 信・牟 田 満
川 越 秀 洋・川 上 浩 介
吉 里 俊 幸

5. 先天性心疾患を有する女性患者のヘルスケア課題に関する検討

九州大学病院

○小 寺 千 聡・田 浦 裕三子

友 延 尚 子・廣 谷 賢一郎
濱 田 律 雄・河 村 圭 子
横 田 奈津子・河 村 英 彦
磯 邊 明 子・加 藤 聖 子

第 4 群) 16 : 40~17 : 30

座長 : 吉 川 賢 一 (福岡大学)

1. 妊娠初期に卵巣茎捻転を来し、吊り上げ法による腹腔鏡手術の利点を再認識した 1 例

浜の町病院

○清 武 早 紀・江 頭 活 子
本 村 真由子・松 水 優 美
孫 麻 子・中 山 紗 千
厚 井 知 穂・前 原 郁
竹 内 麗 子・大 神 達 寛
上 岡 陽 亮

2. 腹腔鏡下卵巣腫瘍摘出術における吊り上げ法の有用性

田川市立病院

○武 田 真太郎・野 田 貴美子
椎 名 隆 次・藤 田 拓司

3. 子宮留血症を伴う非交通性副角子宮に対して腹腔鏡下副角子宮摘出術を行った一例

産業医科大学

産婦人科

○遠 藤 雄 太・金 城 泰 幸
八 木 光 生・橋 脇 冴 弥
武 富 瑠 香・遠 山 篤 史
村 上 緑・西 村 和 朗

原 田 大 史・植 田 多 恵 子
栗 田 智 子・吉 野 潔
産業保健学部広域発達看護学 松 浦 祐 介

4. 当院における vNOTES による卵巣嚢腫摘出術の導入と初期経験

福岡赤十字病院

○井 町 佑 三・濱 崎 洋 一 郎
森 一 馬・松 崎 聖 司
久 富 恵 理 香・古 賀 万 里 子
鈴 木 り り こ・貴 島 雅 子
和 田 智 子・藤 田 恭 之
西 田 眞

5. 当院における遺伝性乳癌卵巣癌症候群におけるリスク低減卵管卵巣摘出術の検討

済生会福岡総合病院

○遅 野 井 彩・丸 山 智 義
中 村 美 有 紀・衛 藤 遥
小 玉 敬 亮・米 田 智 子
松 浦 俊 明・西 大 介

九州大学 馬出キャンパス コラボ・ステーションへの行き方



受付

コラボ・ステーション I
2F 視聴覚ホール前

〒812-8582
福岡市東区馬出3-1-1

【市営地下鉄】

箱崎線

「馬出九大病院前」下車

7番出口から徒歩3分

福岡空港から13分
博多駅から10分
天神から6分

